

大音生活にもっと“キラリ”を♪

# MUSE

10 Vol.257  
October  
2021

## 伝えたい、 学びたい 音楽のこころ

大音で教鞭を執る先生方は、  
その師から何を受け継ぎ、  
何を伝えようとしているのか。  
音楽に対する姿勢や心の持ち方など  
「音楽のこころ」について、  
現役の学生がインタビューしました。

MUSE

October 2021  
Vol.257

伝えたい、学びたい 音楽のこころ

学校法人 大阪音楽大学広報誌「MUSE」 Vol.257 / 2021年10月15日発行 | <https://daion.ac.jp>  
発行：学校法人 大阪音楽大学 〒541-8555 豊中市庄内南町1-1-8 TEL:06-6334-2904 FAX:06-6334-2141  
制作・編集：広報室 [muse@daion.ac.jp](mailto:muse@daion.ac.jp) 制作協力：印刷：株高遠才印刷

大阪音楽大学

## CONCERT SCHEDULE

演奏会やオペラなど、大音関連のイベント。

### 大阪音楽大学主催公演

大阪音楽大学コンサート・センター  
TEL:06-6334-2242

開催日時・出演者が変更になる  
可能性があります

2021年度の本学主催公演は、新型コロナウイルス感染症の流行拡大防止のため、一部の公演を除いて、在学生・教職員および出演者の関係の方のみ入場可とさせていただきます。

#### 〈ご案内〉

※2021年4月より、コンサート・センター窓口または公演当日の会場で、チケットを現金購入される方には、チケット枚につき300円(税込)の手数料をご負担いただきます。(そのチケットを在学生・教職員・音楽院生が使用する場合を除く)

#### 上野星矢フルートリサイタル

10/16(土) 15:00～ ●Fl: 上野星矢、  
Pf: 岡田奏 ●OH ●一般入場可 ●  
3000円(全自由席) ※高校生以下  
は無料招待

#### 第69回ミレニアム・スチューデント・コンサート

第1夜:10/20(水)、第2夜:10/22(金)  
各日18:00～ ●選抜学生によるコン  
サート ●MH ●在学生・教職員およ  
び出演者の関係の方のみ入場可 ●  
無料(要 電子チケット)

#### ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団 第59回定期演奏会

11/1(月) 18:00～ ●指揮: 牧村邦  
彦、演出: 井原広樹、Eu: 濱田凌平、  
Sop: 石橋栄実、Bar: 田中勉、晴  
雅彦、管弦楽: ザ・カレッジ・オペ  
ラハウス管弦楽団 ●OH ●曲目: J.ヘ  
ロヴィッツ/ユーフォニアム協奏曲、  
E.ヴォルフ=フェラーリ/スザンナの  
秘密、ほか ●一般入場可 ●3000円  
(全自由席) ※高校生以下は無料招待

#### 第6回ミレニアムピアノコンサート

11/8(月) 17:15～ ●ピアノ: 木村直美、  
丸山耕路 ●MH ●在学生・教職員  
および出演者の関係の方のみ入  
場可 ●無料(要 電子チケット)

#### 第33回ザ・コンチェルト・コンサート

11/12(金) 18:00～ ●指揮: 新通英洋、  
Pf: 加古彩子、Pf: 西野きらら、Sx: 中  
津川輝、Hr: 磯部柚奈、Mar: 樋口  
聡美、管弦楽: ザ・カレッジ・オペ  
ラハウス管弦楽団 ●OH ●在学生・教  
職員および出演者の関係の方のみ

場可 ●無料(要 電子チケット)

#### 第70回ミレニアム・スチューデント・コンサート

第1夜:11/15(月)、第2夜:11/17(水)  
各日18:00～ ●選抜学生によるコン  
サート ●MH ●在学生・教職員およ  
び出演者の関係の方のみ入場可 ●  
無料(要 電子チケット)

#### 第44回邦楽演奏会

11/19(金) 18:30～ ●邦楽専攻・コー  
ス生 他 ●MH ●在学生・教職員およ  
び出演者の関係の方のみ入場可 ●無  
料(要 電子チケット)

#### 大阪音楽大学大学院

##### 定期演奏会2021

11/24(水) 18:00～ ●大阪音楽大学  
大学院生 ●OH ●在学生・教職員およ  
び出演者の関係の方のみ入場可 ●  
無料(要 電子チケット)

#### ドリームコーラスコンサート

11/27(土) 18:00～ ●関西学院グ  
リークラブ、宝塚音楽学校108期本  
科生、大阪音楽大学合唱団 ●OH  
●一般入場可 ●3000円(全自由席)  
※チケットの発売日はHPでご確認  
ください。

#### 大阪音楽大学 第64回定期演奏会

12/3(金) 19:00～ ●指揮: 尾高忠明、  
Sop: 並河寿美、管弦楽: 大阪音楽  
大学管弦楽団 ●ザ・シンフォニーホ  
ール ●一般入場可 ●3500円(全指  
定席) ※高校生以下は無料招待

#### 第7回ミレニアムピアノコンサート

12/15(水) 17:15～ ●ピアノ: 赤松林  
太郎、西本由香 ●MH ●在学生・  
教職員および出演者の関係の方の  
み入場可 ●無料(要 電子チケット)

#### 第1回NEXT DESIGN ～作曲デザイン ・コース・コンサート～

「迷宮ラビリントス」音楽でつづるギリ  
シャ神話の世界  
12/23(水) 18:30～ ●脚本・演出: 中  
村暁、音楽制作: 作曲デザイン・コー  
ス生 ●OH ●在学生・教職員および  
出演者の関係の方のみ入場可 ●無  
料(要 電子チケット)

### 大阪音楽大学後援演奏会

#### 京都コンサートホール presents

##### 兵士の物語

10/16(土) 15:00～ ●指揮: 広上淳  
一、朗読: 茂山あきら、演奏: 浜脇  
穂充(大阪音楽大学)、他関西の音

楽大学・芸術大学の学生 ●京都コ  
ンサートホール アンサンブルホ  
ムラタ ●一般/3000円、U-30/  
1500円、会員/2700円 ●☎075-  
711-3231(京都コンサートホール)

#### CHANTS D'AMOUR

##### 宇宙をめぐる愛を歌う

兵庫公演:10/19(火) 19:00～、福島  
公演:10/24(日) 15:00～ ●Sop: 奈  
良ゆみ、Pf: 岡本佐紀子 ●兵庫:  
兵庫県立芸術文化センター 神戸  
女学院小ホール、福島: ホテル丸  
屋グランデ(南相馬) サクシード ●兵  
庫: 5000円、福島: 2000円 ●兵庫:  
reve10192021reve@yahoo.co.jp  
(岡本佐紀子)、福島: ahiruda@  
gmail.com(テデスコ企画)

#### 土井緑ピアノリサイタル～バリエーション 作曲家達Vol.7～

10/28(水) 19:00～ ●ザ・フェニッ  
クスホール ●一般3500円、学生  
2000円(当日各+500円) ●☎06-  
6135-0503(大阪アーティスト協会)

#### 鳥居知行ピアノリサイタル

##### 《ブラームスの夕べ》

10/29(金) 19:00～ ●住友生命いず  
みホール ●3000円 ●☎06-6135-  
0503(大阪アーティスト協会)

#### 第11回茨木新作音楽展

10/30(土)、10/31(日) 両日16:30～  
●楠井淳子、熊谷美紀、駒井壁、  
永田孝信、ほかの作曲による作品  
演奏会 ●茨木市市民総合センター  
(クリエイティブセンター) センターホ  
ール ●一般2500円、学生1500円 ●  
komasol@daion.ac.jp(駒井壁)

#### 清元延菊笑 師籍二十周年の会

11/30(火) 12:00～ ●三味線: 清元延  
菊笑 ●国立文楽劇場 ●5000円、学  
割1000円 ●sanshisuime1551@  
nifty.com(長江浩子)

#### 井上麻子×藤井快哉

##### DUO 結成15周年記念コンサート

12/10(金) 19:00～ ●Sx: 井上麻子、  
Pf: 藤井快哉、Cl(ゲスト): 上田浩  
子 ●神戸新聞松方ホール ●一般  
3000円、大学生以下2000円(当日  
各+500円) ●saxophonique@  
hotmail.co.jp(Saxophonique)

#### 51th Percussion Orchestra Concert

12/26(日) 14:00～ ●大阪音楽大  
学打楽器専攻生 ●OH ●500円 ●  
daion\_per@yahoo.co.jp(大阪  
音楽大学打楽器専攻生)

### 幸楽会後援演奏会

#### 光と風が出逢うとき

##### フルートアンサンブル“バスター”

##### ～結成25周年記念(2020年)～

京都公演:11/13(土) 14:00～、大阪公  
演:11/21(日) 15:00～ ●Fl: 川中志保、  
齊藤舞歌、阪口真紀、松村重子 ●京都:  
京都聖ヨハネ教会、大阪: 茨木市福祉  
文化会館 LIVE302 ●京都: 2500円(当  
日+500円)、大阪: 1000円(当日+500円)  
/ライブ配信1000円 ●pastel.flute.  
ensemble@gmail.com

#### TEVENTO

##### IL PRIMO PASSO

11/14(日) 16:00～ ●Bar: 折河宏治、  
山岸玲音、Sop: 池浦佑佳、小林良  
子、Pf: 上杉智穂 ●日本福音ルー  
テル広島教会 ●2500円(当日+500円)  
●dolcevitavita258@yahoo.co.jp

#### 「みだれがみ」出版110周年記念

##### 火の鳥

##### 晶子と鉄幹

11/21(日) 14:00～ ●キャスト: 鳴尾牧  
子、西村圭市、崎谷千恵、藤本裕貴、  
ほか、原作・脚本・歌詞: 夙川座、音  
楽: 白井淳子、演出: 樋口友治 ●ク  
レオ大阪中央ホール ●3300円(当日+  
550円) ●shukugawaza@gmail.  
com(夙川座)

#### 22世紀のCLASSIC ピアソラコンサート

12/1(水) 19:00～ ●Pf: 赤松林太郎、  
一ノ瀬夏美、武田有賀、Vn: 菊本  
恭子、Pf・Arr: 山本京子 ●兵庫県  
立芸術文化センター 神戸女学院小  
ホール ●4000円 ●☎090-3657-  
8143 (office KA.HO.RU)

#### 親子のためのコンサートVol.7

##### クリスマスコンサート2021

12/12(日) 15:00～ ●Pf: サンタクロ  
ース、歌・お話: ニヤリみゆき ●神戸市  
灘区民ホール ●2000円(当日+500  
円)、動画視聴券2000円 ●https://  
oyako-christmasconcert.com/

#### レクチャーコンサートシリーズ

##### 「ピアノ三重奏の歴史」

##### 第1回: 弦楽器が歌い出すとき

12/14(火) 19:00～ ●Vn: 長尾春花、  
Vc: 水野優也、Pf: 水谷友彦、レク  
チャー: 松井拓史 ●ザ・フェニッ  
クスホール ●一般2500円、学生(25  
歳以下) 1500円(当日各+500円)、  
友の会会員2250円(当日+450円)  
※友の会割引はお一人様2枚まで ●  
lechner.trio@outlook.jp(レヒネ  
ル・トリオ事務局)

※公演が中止または延期、完売になっている場合がございます。必ず主催者発表を確認してください。

OH: ザ・カレッジ・オペラハウス MH: ミレニアムホール ※必ず主催者発表のものと同様にご確認ください。

次号は2022年1月15日発行予定です。

MUSEの住所・氏名変更の手続きについて▶変更前と変更後の住所や氏名(よみがな)を大学へお知らせください。メール([muse@daion.ac.jp](mailto:muse@daion.ac.jp))かFAX(06-6334-2141)で受け付けております。 ※郵便物の転送サービスは期間が終わると配達されなくなります。

最新情報を配信中!



公式FB @occm\_l daion\_insta

右記のSNS配信サービスでも大音情報をチェックできます。



お二人に聞きました!

Q 荒田先生ってどんな先生?

初めは存在に圧倒されていました。6年のお付き合いをへて、素晴らしい先生でありながら、第二の母のように、心の支えになってくださっている大きな存在です。

Q 野口さんってどんな学生?

一言で天真らんまん、それが彼女のすごいところ。喜んだり、落ち込んだりするのが、すごくよく分かるので、うそ偽りなく生きている感じがします。レッスンでの指摘は次にはクリアしてくる努力家でもあります。彼女の成長を楽しみにしています。



伝えたいこと

観客との一体感、達成感

舞台でしか得られない

感動が私のエネルギー。

感じたこと

一人では

完成しないのが音楽。

伝える喜びを

感じていきたい。

01

体を楽器に総合舞台芸術を追究する

荒田 祐子

[声楽専攻・コース 教授]

野口 真瑚

[大学院 音楽研究科 声楽専攻 声楽オペラ 院2]

名匠たちが何より大切にしている。伝える。声づくり

野口 まずは、荒田先生の師の話をお聞きしたいです。

荒田 中学生の時から、プリマドンナでありながら教育者としても有名な岡田晴美先生の元で声楽を徹底的に学びました。さらに幸運にも大学卒業後はイタリアで20世紀最大のメソ・ソプラノ、ジュリエッタ・シミオナート先生に3年間教えを受けました。

野口 お二人からどんなことを受け継がれましたか。  
荒田 共通していたことがありません。技術に対しては、基本を大事にするところ。大ホールで歌うための声づくりです。いくらレッスン室でうまく歌えても舞台では通じませんから。

野口 夢みたいなお話ですね。  
荒田 やはりこんな機会はないとお受けしましたが、そのステージでの学びは、今も私の財産になっています。いかに観客と一体化するかということをとくさん吸収させてもらいました。声楽のレッスンを受けるだけでは得られないものだったでしょう。

自分の歌、私たちの音楽で誰かの心がいやされるように

野口 先生はスランプに陥ったりすることはありませんでしたか。

荒田 落ち込んでも翌日には「大丈夫」と思えるタイプです。大好きな音楽をやっているのだから、いつも前しか見ていません。野口さんは昨年学生音コンで1位をとった後、プレッシャーをかなり感じていたのよね。

野口 本番まで、先生やピアニストの方とすごく集中して作り上げたので、疲れが出て食欲も落ち、やせてしまいました。さらに、次うまく歌えなかったら「これが1位の演奏か」と思われそうで……。

荒田 舞台をつくるにはさまざまな人の関わりも必要、うまくいかないこともあるでしょう。けれど、うまくやろうとするのではなく、大事なものは何かを届けたいと思う心です。私は「心にドーンとくるような歌を歌い続けなさい」と常

野口 レッスンでも、記号がわからず、ホールでの力をイメージするよう言ってくれますね。

荒田 ホールでは、オーケストラを突き抜ける声を出せてこそ、聴く人の胸を打つ音楽をつくりだすことができます。息の上に言葉ののせ、その流れをお客さまに届けるイメージだと伝えていました。

野口 そのために、私はブレスを大切にすることを心掛けています。  
荒田 そうですね。休符や記号から、作曲者が提示している音楽を読み取る力も必要です。詞やオペラの内容をしっかりと把握して、作曲者がどういことを伝えたいのかを楽譜から勉強するのです。そのすべてを息の上にのせるためには、ブレスはとても重要です。

野口 私は1年生の時から「コンクールに出たい」と言って機会をいただき、ホールでの空気を感取ってきました。イメージするには、経験も必要だと感じます。

荒田 その通りです。経験と言え、イタリア留学中に思わぬオファーがありました。知人の結婚式で歌ったのをたまたま聴いたエージェンシーから、オペラ公演に声をかけていただいたのです。日本語以外のオペラは未経験でしたし、「蝶々夫人」のススキ役で、フルシャワ大劇場など5都市での公演ということに少し戸惑いました。

に師に言われていました。それがすべてだとも思っています。

野口 そうですね、自分のことだけでなく聴いてくださる方に届けることを忘れずにいたいのです。

荒田 あと私の考えでは、歌は体が楽器なので、できるだけ酷使しないこと。私は頭でしっかり目指す声を出して、短時間で集中して声を出すようにしてきました。オペラには言葉や演技も必要ですから、バランスよくその勉強をしながら、気持ちや体を保つていか……。

野口 私は歌い過ぎてのどを痛めることがあるので、課題ですね。

荒田 岡田先生、その師である世界的なドイツ歌手、エルナ・ベルガーさんはともに、80歳代でも素晴らしい歌を歌ってられました。

野口 プロとして、長く現役でいるのに必要なことは何でしょう。

荒田 しっかりした基本と、音楽に対するとても熱い気持ちがあることじゃないかしら。私も先生方に負けないように、長く歌い続けることを目標にしています。

野口 私も胸を打つ歌い手になり、そうあり続けたいです。

荒田 音楽の力って、幸せを感じさせてくれることだと思います。私はイタリアで学んだバルカント唱法を伝えて、その力を未来に託していきたい。一緒にがんばりましょう。



ビッグバンドサークルが  
ジャズとの接点に

小川 藤井先生は大音でクラシックのトロンボーンを専攻していたそうですね。

藤井 吹奏楽部に所属していた高校時代、将来はクラシックのオーケストラに入りたいと思って大音に入学しました。在学中に管弦打楽器の学生によるビッグバンドのサークル「大音ジャズオーケストラ(DJO)」に参加したことがジャズに触れるきっかけ。と言ってもメンバーはみんなクラシックが専門なので試験や演奏会で忙しく、サークルの練習は週に1回だけ。指導者もいなかったため、今考えるとけっこうつらめなことをやっていたと思います(笑)。大学卒業後、しばらくはトロンボーン演奏から遠ざかり、クラシックやジャズ、ポピュラー、ときには演歌まで、編曲や作曲の仕事が続けていました。1992年、大音の短大にウインド・アンサンブル・コースが開設され、その中のジャズ・クラスの教育助手として、DJOに所属していた卒業生に声がかかった。その1人が私でした。

演奏してこそ感じられる  
ジャズの奥深さ、醍醐味

小川 学生への指導の中で核とな

めにはどういう技術があるのかというところへの理解があれば自分自身ももっと高いレベルで演奏できると思います。

小川 「他の楽器が」ここでどう入るのか」ということが分かる演奏していき気持ちがいいですね。プロの演奏を見ていると、音の発信や他の楽器の音を受け取って返す瞬発力のすばかさに気づかされます。

藤井 ジャズの何が面白いって、そこだと思います。聴くだけではなく、演奏してこそジャズの奥深さや醍醐味を感じられるんじゃないでしょうか。

考えなくても出てくる音が  
即興演奏の理想

小川 技術的なセオリーを踏まえた上で、即興演奏に必要なプラスαの要素があるとすれば何でしょうか。

藤井 ジャズに限らないけど、即興演奏っていうのは、自分の言いたいことを音で伝えること。「こうしてやるよ」とか頭で考えていたらダメ。その場で思い浮かなければ、無理に音を出さなくていいとさえ思っています。何も音を出さなくてもピアノとベースとドラムは演奏してくれているから、極端な話数小節くらい無音になっても全然問題ない。自分の中でちゃんと音

## 02

ネイティブで喋るように出てくる音を求めて

藤井司朗

[ジャズ専攻・コース 専任講師]

小川智也

[ジャズ専攻・大4]



感じたこと

クラシックとジャズ、  
言語の違いを  
吹き分けることの大切さ。

伝えたいこと

他の楽器への理解を深めることで、  
自分自身もより高い  
レベルで演奏できる。

る部分はどのようなどころですか。  
藤井 ジャズの即興演奏が最も発達したのは1950年代。ジャズ専攻では1、2年生の間はその時代のジャズを徹底的に勉強するようにしています。後々どのような年代のスタイルを志向するにしてもまずはここから。

また、レッスンでは「ジャズの即興演奏はコード進行を表現している」とよく話しています。即興のパートだけ取り出してもピアノ、ベース、ドラムの伴奏が聞こえてくる——そのようなイメージでフレーズをまとめなさいと。そのために、できるだけピアノを弾くようにと言っています。管楽器は単独でハーモニーが出せないで、下手でもいいから必ずピアノに触れて、響きを感じ取ることが大事だと伝えていきます。

小川 確かに、クラシックとジャズのコードの違い、その感覚はトロンボーンで1音吹くだけではつかめません。ピアノで響きを覚えることは大事だと感じます。

藤井 ジャズは楽譜を使うことが少ない音楽なので、バンドで演奏するときは専門以外の楽器に関する知識があると強みになる。他の楽器のことが分からないと、その楽器に一番合う演奏ができないんです。他の楽器がどういう音を出しているか、その音を出すた

が出てきたら出しなさいと。それが理想だと思っています。

もちろん、即興演奏の勉強を始めて間もない人は事前に準備しておくのも、考えて吹くのもいいと思います。でも、そこからどうやって脱却していくか、その過程が自分の成長や音づくりにつながると思っています。

小川 語学でも最初は単語や文法を習うけど、最終的にはネイティブのように喋れるようになることが目標。考えなくても音で会話できるようになる——その過程はすごく似ていると感じます。

ジャズもクラシックも  
言語に合った  
吹き分けが大事

小川 ジャズとクラシックにおいて即興演奏以外の違いって何だと思われませんか。

藤井 「言語」の違いかな。例えばクラシックの中でも、バロック音楽の喋り方とロマン派の音楽の喋り方は違う。でも、何を吹いても同じ感じで吹く奏者が多く、そこに對する疑問は「ずっと思ってる」ところ。ジャズはその言語の一つであって、その中でも時代によってディキシランドやビバップなど細分化されます。それぞれの喋り方に合わせて、吹き方の引き出しを持つておくことが大事だと思います。

お二人に聞きました!

Q 藤井先生ってどんな先生?

初めてお会いしたのは高校時代、最初は寡黙でどしどし構えている先生という印象でした。非常にたくさんの引き出しを持っておられる先生で、私の質問に対し、ときにはユーモアを交えながら的確な答えをくださります。

Q 小川さんってどんな学生?

あまり一生懸命練習しているイメージはありませんが(笑)、小川さん自身、感覚で演奏したいと思っているし、実際にできてしまう。ジャズの世界では、それはそれで悪いことではない。知性派というよりは感覚派の学生ですね。





舞台の上では一人じゃない  
作曲家や聴き手と共に  
音楽をつくる

**弘田** 先生はどのようにヴァイオリンと出会ったのですか。

**木田** ヴァイオリンの最初の手ほどきは父でした。けれど練習をしながらというよりは、お花を見て「きれいだね」「海に行つて「広いね」「など、そういう気持ちや視野の広さを教えてもらったような気がします。

**弘田** 私が先生に学びたいと思ったのは、そういう部分かもしれないですね。先生のCDでバルトークの「ルーマニア民俗舞曲」を聴き、現地の景色が見えるような感覚になりました。すごくイメージが湧いてきて、私もこれを弾きたい！って。

**木田** 東欧の民族音楽ですね。ちよつと日本の民謡と似たところもあります。

**弘田** 先生は感性をとて大切にされますが、音楽を教える時に重んじているのはどんなことですか。

**木田** 国内外でたくさん先生の教えを受けてきましたが、みなさん、とても愛情を持って教えてくださいました。そして「心を大事にする」「ことを伝えていただいたと思つています。楽譜に書いてある音符を音にするだけなら口ポットにもできますよね。まずは奏者に楽曲への感動があること。その気

中でしたが、だんだんお客さまに育てていただいていることを感じるようになってきました。自分一人で音楽をつくっているのではなかったんです。

**音色は自分の心そのもの  
よい音を響かせ楽器を育てよう**

**弘田** 門下生同士の演奏会や交流の機会をたくさんつくってくださるので、楽しいし刺激になっています。

**木田** 私も学生たちから学ばせてもらっています。みんなの気持ちを目で見ることはできないけれど、音を聴くと「こう思っているんだな」と感じます。音を出すことは、自分の心を伝えるのと同じ。だから、絶対にきれいな音を出さう、心のこもつた音にしようと言つていますよね。

**弘田** そのために、体と楽器が一体になって響かせることも教わりました。体全体をしっかりと使うことで、音色が変わることを実感しています。

**木田** 手元だけで弾くと小さな世界にとどまってしまうんです。ヴァイオリンは、音の振動を木の細胞に行き渡らせて、楽器を育てていくのです。すると楽器が応えてくれるようにどんどん音がよくなりますからね。

**弘田** 私も自分のヴァイオリンに愛情を持って接し、楽器とともに成長していきたいと思つています。実技はもろもろのこころ、音楽について幅広い勉強ができるのも楽しみです。

## 03

愛情を持って音楽に向き合う

### 木田雅子

【弦楽器専攻・コース 特任教授】

### 弘田かなえ

【ヴァイオリン演奏家特別コース・大1】

持ちを伝えるために、楽曲をよく分析して、伝えるツールとしてヴァイオリンを弾くのだと思つています。

**弘田** 私は、レッスンの度にメモを書き込みすぎて楽譜が見えなくなっちゃいそう……。先生とお話ししながら、曲に対して感じることや気持ちを演奏に落とし込もうと思つています。

**木田** 音楽はコミュニケーションの芸術だと思つています。まずは奏者と作曲家との対話、さらに共演者がいたら息を合わせて音をつくっていきます。最後はお客さまとのコミュニケーションです。そこで初めて音楽になります。お客さま一人でも、その気持ちは同じですね。

**弘田** 演奏会の経験を通して、そう感じるよつになったのですか。

**木田** 最初は自分の演奏に無我夢

**木田** 学生時代は、スポンジのようにたくさんの方から多くの知識を吸収してくださいね！

**演奏で「ありがとう」を伝える**

**弘田** 音楽観が変わるような転機はありませんか。

**木田** 1995年の阪神・淡路大震災に遭い、全壊した家や、周囲の悲惨な状況を目の当たりにし、悲しみを通り越した絶望を味わいました。12枚に割れてしまった楽器を見て、心は凍てついたままでした。でも、友人たちが持つてきてくれたヴァイオリンを手にして音を出した時、一気に感情があふれ出したのです。当時小学生だった娘も同じような経験をしました。悲しくてもいいから、心が動いているって、すごく幸せなことなのです。誰かにとつて、音楽がその支えになればいいですね。

**弘田** そんな思いでチャリティー活動をされているのですか。

**木田** 本番は「ありがとう」を届ける日です。その日まで苦しんだ問題も全部喜びに変えて演奏したいですね。

**弘田** 私も、演奏が終わったら「ああ、頑張つてよかった」と思えるようにしたいです。次の舞台は、ぜひそういう気持ちで臨もうと思つています。



感じたこと

楽器に、音楽にもっと愛情を注いでいきたい。

伝えたいこと

心が動くのは、とても幸せなこと。まずは自分が感動し、どう届けるかを学んでほしい。

お二人に聞きました！

Q 木田先生ってどんな先生？

オープンキャンパスでお会いした時、明るくて前向きで、太陽のような方だと思えました。レッスンはとても丁寧で、情緒的なところもよく考えさせてくださいます。

Q 弘田さんってどんな学生？

純粋な気持ちで育ってきた、まっすぐな人。吸収力があります。エレガントに見えて情熱的な音が出るんですよ。高知のご実家を離れて一人暮らしなので、ご飯しっかり食べているかなとつい心配して聞いてしまいます。



# 岡原 慎也

【ピアノ専攻・コース 教授】

# 長阪 花音

【大学院 音楽研究科 器楽専攻 ピアノ・院2】



**自分と対話することが音で語るための出発点**

**長阪** 先生のレッスンでは、曲を弾くこと「今」の演奏、自分でどう思うかって聞かれますね。

**岡原** 学生に常に言っているのは「何のためにピアノ（音楽）をやっているのか」ということ。私は「音で自分を語る」という最終目標だと思っていて、語るためには「語る何か」が自分の中になければダメなんです。演奏を自分がどう感じたか、自分と向き合うことが出発点だと思います。

**長阪** 学部時代から自分が音楽を続けている意味を考え続けてきましたが、大学院で岡原先生の指導を受けるようになってから、自分はこういう気持ちでピアノを弾いていたんだと、今まで知らなかったことに気づくことができました。

**岡原** 私たちが奏でる音楽は、作曲家が楽譜にしたためた音を「自分」というフィルターを通して再現する芸術。歴史も宗教も言語も違うヨーロッパの作曲家が伝えたかったことを理解し自分の音で表現することが大切です。

### お二人に聞きました！

**Q** 岡原先生ってどんな先生？

ピアニストとしてのオーラをまとった岡原先生のレッスンは、毎週特別授業を受けているような感覚になります。体の使い方、力の抜き方など、先生からいただくアドバイスには毎回深く納得。教える習得できるように頑張っています。

**Q** 長阪さんってどんな学生？

長阪さんが大学院に入ってから指導するようになりましたが、レッスンで指導したことへの吸収がとても速い学生です。今の課題はメンタル面の強化。家でできることが本番でも100%発揮できるよう、レッスンでアドバイスしています。



ています。

**岡原** 高校生までは基礎を学ぶ時期でいいと思いますが、大学生、大学院生になるにつれ自分の表現としての音楽にシフトしていく必要があります。誰かと同じ演奏なら自分が弾く意味がないですからね。私たちが教える側の役割は最低限の枠からはみ出さないように、自由に弾かせること。「うしろさき」「あしなさい」と指示するのが一番簡単ですが、それではいつまでも自分の音楽は見つけられませんから。

**ステージ上で一緒に音を出す喜びや高揚感を感じてほしい**

**長阪** 先生ご自身もソリストとしてだけでなく、室内楽や歌曲の伴奏など幅広く活躍されています。

**岡原** ソリストでも、例えばショパンしか弾けませんなんて人は、ピアノリストとしての活動の幅が狭くなってしまいます。ソロ、室内楽、歌曲の伴奏など、引き出しが多ければ、多方向

感じたこと

一歩踏み出すことを

ためらいがちな私、

希望を持てる

お話が聞けました。

伝えたいこと

近い将来、

心の時代が来ることを信じ

今は自分の才能を磨いてほしい。



面から声をかけてもらえる。だから、学生にはいろんなことができるようになってほしいと言っています。

**長阪** 私は人と合わせるのが苦手なソロの方が音楽と感じてしまっています。

**岡原** 音で自分を語ることがソロだとすれば、アンサンブルは音を使って共演者と会話すること。同じ曲でも、パートナーが変われば、曲の演奏スタイルも変わる。例えばデュオなら、二つの違う個性が融合して新しい一つの個性が生まれる、そこが面白さだと思います。音楽をやっていて、アンサンブルをやらないうちから、音楽の喜びを半分以上捨てているのと一緒。ステージ上でみんなと一緒に音を出す喜びや高揚感を感じてほしいですね。

**「その人の音楽は、経験が集約されて完成する」**

**長阪** 自分の音や表現を身に付けるために、演奏以外で心がけるべきことはありますか。

**岡原** とにかくいろいろな体験をすること。自分の知らないものを見る、触れる、違う文化を知る。もっと言えば、美味しいものを食べる、いい恋愛をする。こうした体験は時間をかけて必ず自分に返ってくる。その積み重ねによって自分の音楽表現、伝えたいことがだんだん自分で分かるようになってくる。そして「その人の音楽」は、受け

た教育、聴いてきた音楽、体験してきたこと——全てが一つに融合して完成に近づいていくと考えています。

**長阪** コロナ禍もあり、体験の機会は減ってきています。友達と話すのもオンラインだったりしますが、実際に会うのとは、楽しさが全然違います。

**岡原** 音楽で本質的に一番大切なことは、人の心をつなぐこと。人と人が触れ合うときって、ちょっとした表情の変化やしぐさなどを視覚、聴覚、嗅覚、触覚、全て総動員して感じています。オンラインではそれが難しい。便利になった反面、オンラインで人の心がつながるのかという点では疑問が残ります。演奏会では会場や観客の雰囲気を感じて、そこにアーティストが出てきて、生の音を聴いてどう感じるか——その過程を人間は五感を駆使して感じ取っているんです。

**コロナ禍で音楽は不要不急と言われましたが私は心の栄養剤だと思っています。こういう世の中でみんな心を失い、表面的な事象ばかりを追っています。しかし、人に心がある限り、必ず揺り戻しが起こる。やはり心を大切にしようという時代。5年後か10年後なのかはわかりませんが、心なしでは人間は生きていけない。必ず揺り戻しが起こると信じて、今は自分の才能を磨きなさいと伝えたいです。**



01

## 2022年4月 『MUSE』はWebマガジンに変わります

本学の広報誌は、1985年(昭和60年)4月1日発行の第1号から、誌面の装いを変えつつ、紙媒体として発行してきました。そして現在もご卒業生の皆さまをはじめ、たくさんの方々にご愛読いただいています。その一方で、近年ではデジタル化が急速に進み、世代問わずスマートフォンが広く普及しています。MUSE読者の皆さま

もスマートフォンをお使いの方が大半だと思われま。本学では、このような時代の流れに沿った形でリアルタイムに大学の今をお伝えするべく、2022年1月号をもって『MUSE』の紙媒体発行を終了し、2022年4月からWebマガジンへと移行します。Webマガジンでは、これまでと同様の特

集記事や演奏会・イベントレポート、大音の星(コンクール受賞)、ニューリリース、その他のニュースなどに加え、Web媒体だからこそその企画にも挑戦していきます。お出かけの電車の中や寝る前のひとときなど、いつでもどこでもスマートフォンでお気軽に『MUSE』をお楽しみください。(PC・タブレットでもご覧いただけます)

### Webマガジン『MUSE』サイト

- ◎現在のページでは、これまでに発行したMUSE誌面PDFをご覧いただけます。
- ◎新サイトオープンと同時に自動的にアクセスページが切り替わります。

ぜひブックマークにご登録をお願いします!  
URL : <https://www.daion.ac.jp/muse/>



ここでしか見られない  
取材の裏側も!  
MUSE公式  
LINEアカウント開設!

MUSE公式LINEでは、更新通知が受け取れます。取材の裏側も配信予定!  
右のQRコードからぜひ「友だち追加」をお願いします!



02

## 阪急宝塚線沿線を結ぶリレーコンサート第1回開催! 「阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT! 2021」～音と触れ合う～ 開催期間：2021年10月23日(土)～12月5日(日)



ミュージックコミュニケーション専攻の学生が中心となり、2019年度に「阪急電車と音楽」をテーマにイベントを開催した「阪急宝塚線ミュージック駅伝 MOT! 2021」(MOT!)が、10月23日(土)から本格的にスタートします。MOT!は、阪急宝塚線沿線に点在している複数のホールや大学の施設が、一定期間共通のテーマで連携し、音楽を軸とし

た場をリレー形式で「駅伝」のようにつなぎ、沿線地域の新しい魅力を創出するプロジェクトです。今回のテーマは「音と触れ合う」。このテーマには、コンサートで生演奏される「音楽」だけではなく、演奏前のざわめきや演奏者の息づかいなどの「音」にも触れあっている。参加する各ホールの主催公演と、それら

の間をつなぐフリンジイベント(ミュージックコミュニケーション専攻の学生企画運営)で、阪急宝塚線沿線の音楽文化を盛り上げます!

MOT!に関する最新情報は特設サイトでご確認ください!



### ◆各ホール主催公演

日時	公演タイトル	会場
10/23(土) 18:30～	ロビー・コンサート「トロンボーン・アンサンブル」	川西市みつなかホール
10/30(土) 15:00～	《センチュリー-豊中名曲シリーズ》Pure-緑の向こう側-	豊中市立文化芸術センター
11/1(月) 18:00～	ザ・カレッジ・オペラハウス管弦楽団第59回定期演奏会	ザ・カレッジ・オペラハウス
11/3(水・祝) 14:00～	マエストロ朝比奈隆 永遠なれ!～没後20年メモリアル～	常翔ホール
11/13(土) 14:00～	第48回バロックコンサート フォルテピアノで聴くモーツァルト～18世紀ウィーンの音色～	池田市民文化会館
11/27(土) 18:00～	ドリームコーラスコンサート	ザ・カレッジ・オペラハウス
11/28(日) 14:00～	宮川彬良とアンサンブル・ベガ特別公演	宝塚市立文化施設ベガ・ホール
12/5(日) 14:00～	《身近なホールのクラシック》村治佳織ギター・リサイタル	美面市立メイプルホール

◆フリンジイベントの開催も複数予定しています。



## “チャンスは逃さないように、と心に刻みました

—— 野口真瑚

イタリアでの舞台のお話など、やはりすごい経験をされてきたんだな、と感じました。恐れず、チャンスをしっかりつかんできたのは、音楽への情熱があっただけなのかなとも。

先生とお付き合いが深まる中で、明るくて面白い方だなと感じていましたが、数々のエピソード

を聞くことで、前向きな考え方がとても参考になりました。これから自分もどんなことでもチャレンジできるのではないかと、希望が湧いてくるお話でした。学生生活は残り少ないですが、精いっぱい先生からの教えを受け取ってこうと思います。



## “先生の博識さを改めて感じる事ができました

—— 小川智也

レッスン以外でお話をする機会が少ないので、今日のお話を通じて改めて藤井先生の博識さを感じることができました。

先生は本当に音楽が好きで、一時期は来日するオーケストラをはじめ、学内で開催される学生の演奏会も含めて年間60～70回ほどコ

ンサートに足を運んでいたそうです。私自身、高校時代は吹奏楽部に所属していたこともあり、オーケストラの演奏も好きです。コロナ禍が落ち着けばいろいろ聴きに行ってみたいと思います。

## “わたしが感じた音楽のこころ”

取材を通して感じたことや、新たな気づきなどを学生の皆さんにお聞きしました。



## “心を通わせられるのが魅力ですね

—— 弘田かなえ

演奏活動とともに社会的な活動もされていて、先生自身がキラキラしていることを改めて感じました。演奏を通して、言語とは違うコミュニケーションができるんだということに、とても可能性を感じます。音楽には壁がなく、世界中の人と一つになれるのが素敵だなと思いました。

週一度のレッスンがいつも楽しみで、音楽を通して先生から元気をもらえる感覚です。先生も楽しさが原点だとおっしゃっていました。これからも出会えた先生方への感謝を忘れず、大学生生活を有意義に過ごしていきたいです。



## “私だからできる“新しい音楽の空間”をつくりたい

—— 長阪花音

前向きで挑戦を惜しまない岡原先生の音楽人生をお聞きして大変刺激を受けました。先生が舞台上に立つときに「息を吸うように弾いて帰ってくる」とおっしゃるその状態を私も模倣したいと感じます。

友人には「クラシックは敷居が高い」と言われ

てしまいます。音楽に携わりながら感じる閉塞感から抜け出し、新しい音楽の空間をつくりたい。私は自然が好きなので、自分自身が落ち着くような場で音楽を奏で、人々の癒やしになるような空間、音を届けたいと思います。



## 04 夏のオープンキャンパス2021 2つのスペシャルイベントを開催

7月22日(木・祝)「夏のオープンキャンパス2021」で2つのスペシャルイベントが行われました。



### ルンヒャン特別鼎談 「クリエイターズミーティング」

「香水」で大ブレイクした瑛人ほか、多くのアーティストが学ぶ音楽塾「ルンヒャンゼミ」が話題のシンガーソングライター・ルンヒャン氏と、ポピュラーインストゥルメント専攻の浜崎州平講師、ミュージッククリエーション専攻の足立知謙特任教授の3名による「クリエイターズミーティング」を開催しました。ルンヒャンゼミは、曲づくりへの独自のアプローチ方法が話題で、「瑛人はあるある」をノートに簡潔書きで書くところから始めた」などのエピソードも交えながら、ルンヒャンゼミ流の指導法をひもときました。足立特任教授、浜崎講師もクリエイターとして、それぞれの曲づくりのプロセスを明かし、創作について三者三様の考えを共有しました。後半には、「朝ごはん」をテーマに観客からワードを集め、そのままのワードを使った即興演奏を披露。「身近なことから音楽をつくることができる」というメッセージが伝わる企画になりました。



### 上野星矢准教授 「フルートマスタークラス」

上野星矢准教授によるフルートマスタークラスでは、高校生1名と本学在学学生1名がレッスンを受講しました。アドバイスの内容は、頭部管をセットする角度、チューニングにおける注意点などの基礎から、本番直前の練習で気を付けることまでさまざま。現役演奏家のリアルな経験や実践に基づくお話しを、受講生は熱心に聞いていました。また、難関なパッセージについては練習方法や意識するポイントも伝授するなど、上達への近道を余すことなく示し、受講生だけでなく、来場者全員の学びを後押ししました。レッスンの後にはミニコンサートが行われ、上野准教授の魅力がたっぷりと詰まった演奏でイベントに花を添えました。



## 05 社会福祉法人「遺徳会」社歌 作曲コンペを開催



大阪府の社会福祉法人「遺徳会」から法人職員の愛唱歌(社歌)作曲の依頼を受け、ミュージッククリエーション専攻と作曲デザイン・コースの在学学生を対象とした作曲コンペが実施されました。6月7日(月)に表彰式が行われ、応募された全11作品の中から、ミュージッククリエーション専攻3年・吉田育子さん(写真中央)の「まごころこめて」が、見事最優秀賞に輝きました。吉田さんは作品について、「遺徳会様が大切にされている理念や言葉を、思いの部分と絡めながら歌詞として丁寧につづりました。職員の方々に親しみをもち歌っていただけのことを感じています」と思いを語りました。優秀賞を受賞したのは、同専攻4年・松塚千裕さん(同左)の「ハッハハ」、同じく2年・村尾真翔さん(同右)の「Happiness」でした。審査を担当した遺徳会理事長・嶋田祐史氏は「これからいくらでも開花する能力と可能性を感じ、夢がふくらんでいる」と学生たちの今後を楽しみにされていました。今回の作曲コンペは、遺徳会創設者の嶋田安治郎氏と本学創設者の永井幸次先生に交友があったご縁から実現したものです。今後、遺徳会が運営することも園の園歌作曲コンペも開催される予定です。

## 06 2022年度学校推薦型選抜

詳細は2022年度入学選抜要項をご確認ください。

出願期間：2021年11月1日(月)～11月9日(火) ※消印有効  
試験期間：2021年11月28日(日)～11月29日(月)

## 03



前列左から、みゆ、コウヘイ。後列左から、ハル、とら、あんゆ、このか

## 『全国ハモネプリーグ大学日本一決定戦2021夏』で 大阪音楽大学「BLACKMOON」が優勝!

8月14日(土)に放送されたフジテレビ系系列『全国ハモネプリーグ大学日本一決定戦2021夏』(ハモネプ)で、本学代表で出場した「BLACKMOON」(ブラックムーン)が優勝しました。ブラックムーンはハモネプ出場を目指して結成されたグループで、メンバーは、ミュージッククリエーション専攻2年太田温音さん(ハル)、豊田幸平さん(コウヘイ)、ヴォーカルパフォーマンス・コース2年齋藤好花さん(このか)、花野安優さん(あんゆ)、牧野正虎さん(とら)、ミュージカル・コース2年原田美優さん(みゆ)の6人。メンバー全員がアカベラ初挑戦でしたが、「音楽だけはどの大学にも負たくない」という強い気持ちで挑みました。ブラックムーンの強みの一つは「メインボーカルとして歌っている歌手がそろっている」こと。その強みを最大限に生かした「ボーカルリレー」がパフォーマンス

の見どころで、1回戦のMrs. GREEN APPLE「青と夏」、決勝のReol「第六感」ともに、それぞれの歌手の魅力が存分に引き出されていました。また、コーラスも高い歌唱力ゆえの充実した響きがあり、曲全体が華やかに仕上がっていました。ボーカル・コーラスを支えるリズムパートもハイレベルで、的確なビートを刻むボイスパーカッションと安定感のあるベースが、演奏のクオリティをさらに高めていました。「青と夏」ではビートボックス(ボイスパーカッション)ソロを取り入れるなど、他とは一味違った構成にも挑戦。全員が主役として輝くアレンジは見事でした。出場校の中で唯一の音楽大学というプレッシャーもある中、全員が心の底から音楽を楽しんでいる姿がとても印象的でした。今後のそれぞれの活躍にもぜひご注目ください。

### コウヘイ (ボイスパーカッション)

まずは優勝出来て本当に良かったです。初めてのアカベラというもあり、どこまで良いものなのか指標も感じにくく、ある意味ハードル(壁)の上限が見えない状況が続いたのでチームとしてのモチベーションやメンタルを保つのが大変でした。でも勇気を出してボーカルリレーやビートボックスソロなど他ではあまり見ないことをたくさん取り入れ、それを本番フルに発揮できたのが優勝につながった理由だと思います。自分の周りやSNSなどでも多くの反響があり、これを上手く活かして今後の活動につなげようと思います。とても良い経験ができました。

### とら (ボーカル・コーラス)

今回初めてこのような形でアカベラをしてみても楽しくて、誘ってくれたメンバーのみんなや応援してくださった関係者のみなさまにはとても感謝しています。学校の授業でもバンド形式での練習や本番はありますが、アカベラは他とは一味違って誰か1人の出す音がズレれば全員がズレしてしまうということがとても難しかったです。優勝はできましたが、正直まだまだできていないことが多かったのもで勉強になりました。全員がこれから個人として旅立っていく中で素晴らしい経験になったと思います。応援ありがとうございました。

### ハル (ベース・アレンジ)

まずは優勝できてすごくうれしいです。アカベラはもちろん、僕は口ベースやアカベラアレンジも初めての挑戦で、すごく悩んだり諦めそうにもなりました。でも、メンバーやさまざまな方が支えてくれて、なんとか本番に良い形を持っていくことができたし、そうしてみんなで作り上げた作品が評価されたことがすごくうれしくて、今はホッとしています。放送後たくさんの反響があって、それぞれ個人を応援して頂けることも増えました。「自分たちの音楽を待っている誰かがいる」ということに深く感謝しながら、これからも今回の経験を生かして音楽活動を精力的に行っていきたいと思っています。これからもよろしくをお願いします!

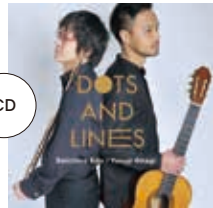


10 NEW RELEASE

大音関係者がリリースしたCD・本・楽譜など。



CD  
加藤 哲子 (99年度大卒・ピアノ)  
レコード芸術 2021年3月号海外盤特選盤  
**ゴルトベルク変奏曲 BWV988**  
音楽と建築「J.S.Bachの家」  
3,200円(税込)  
SARU music  
<https://sarumusic.com/japan/>



CD  
江戸 聖一郎 (講師・フルート)  
大萩 康司 (客員教授・クラシックギター)  
**DOTS AND LINES**  
2,970円(税込)  
Studio N.A.T  
Amazon、HMV、タワーレコード 他



BOOK  
田中 宏幸 (81年度大卒・トランペット)  
**教えずに育てる**  
オレンジの悪魔は教えずに育てる  
1,650円(税込) ダイアモンド社  
Amazon、楽天ブックス、紀伊國屋書店



BOOK  
赤松林 太郎 (特任准教授・ピアノ)  
**プレ・ソナチネ**  
(NS75/古典派学習の第一歩)  
1,210円(税込) 東音企画  
全国の書店、楽器店、オンライン書店

11 キラリ★輝く大音の星

各種コンクールで受賞された皆さん。

※在学生の学年・在籍表記は2021年度時点のものです。



永井 樹奈 (短専・フルート)  
第3回大阪 International 音楽コンクール  
管楽器一般部門  
**第2位**(1位なし、およびベスト・インプレッション・アワード)  
2020年12月2日  
豊中市立ローズ文化ホール



田野 萌子 (大4・ピアノ演奏家特別)  
第5回ダヌビア・タレント国際音楽コンクール  
ピアノ部門 D カテゴリー  
**第2位**  
2020年12月16日  
オンライン審査



三谷 真未 (大4・ピアノ)  
第27回ワタナベ楽器店ピアノフェスティバル  
大学生部門  
**銀賞**(金賞なし)  
2021年1月24日  
サンスクエア堺



豊留 麻由 (大4・ピアノ演奏家特別)  
第23回「万里の長城杯」国際音楽コンクール  
ピアノ部門 大学の部  
**第2位**  
2021年3月18日  
ピッコロシアター 小ホール



飯田 真鈴 (大1・ピアノ演奏家特別)  
Danubia Talents 3rd "Wiener Klassiker" International Online Music Competition  
ピアノ部門 C カテゴリー  
**第2位**  
2021年3月26日  
オンライン審査



中川 裕子 (92年度大卒・ピアノ)  
第11回岐阜国際音楽祭コンクール  
専門コースピアノ部門 一般Ⅱの部  
**第1位**  
2021年5月2日  
じゅうろくプラザ

12 土岐英史客員教授(ジャズ)が逝去

本学客員教授の土岐英史氏が2021年6月26日に逝去されました。1994年から非常勤講師として本学で勤務され、2012年からは特任教授、2018年以降は客員教授として、長きに渡り本学の教育のためにご尽力いただきました。客員教授に就任後は、年2回ほど特別講義を実施していただき、昨年12月にもジャズ演奏の方法論や学生の演奏について丁寧にご指導いただきました。ここに謹んで哀悼の意を表し、心よりご冥福をお祈り申し上げます。



清家 果依 (14年度大専修・ピアノ)



金井 沙季 (13年度大卒・ピアノ)

第23回「万里の長城杯」国際音楽コンクール  
アンサンブル部門 一般の部A (ピアノ連弾)  
**第3位**(1、2位なし)  
2021年3月18日  
ピッコロシアター

07



ミュージックビジネス専攻 開設記念ライブイベント DAION MUSIC TECH 2021

7月25日(日)心斎橋 JANUSにて、ミュージックビジネス専攻開設記念ライブイベント「DAION MUSIC TECH 2021」が行われました。当初は有観客(ライブ配信あり)での開催を予定していましたが、新型コロナウイルスの影響により、無観客・ライブ配信のみに切り替えて実施しました。

出演アーティストは、在学生で結成された「大音スペシャルバンド」、事前に開催された「高校生ヴォーカル・オーディション」でグランプリに輝いた高校生シンガー

2人、「♪君の虜になってしまえばきっと」のフレーズが世界中で異例のヒットとなった「summertime」でコラボしたネット世代注目の「cinnamons」「evening cinema」の全5組。どのアーティストも、パワフルな渾身のパフォーマンスで、それぞれが抱く音楽に対する熱い思いが伝わってきました。さらに、音楽×ロボットの新たな試みとして、自律走行ロボット「Cuboidくん(キューボイドくん)」を導入。出演者へ飲み物などを運ぶ姿は愛らしく、

和やかなムードが広がっていました。配信ではチャット機能を活用し、視聴者同士のリアルタイムの交流など、オンラインならではのスタイルで楽しみを共有していました。

09



非常時災害用備蓄水の寄贈

この度、コカ・コーラボトラーズジャパン株式会社から、非常時災害用備蓄水として「い・ろ・は・す日本の天然水」を200ケース(1ケース=2リットル×6本。賞味期限=2023年1月)を寄贈していただきました。E号館1階倉庫に50ケース、P号館1階北側ポンプ室に40ケース、K号館1階北側倉庫に30ケース、そして豊南寮(A棟1階)に80ケース保管しています。これらの水は、非常時、災害時に飲料用などの目的で活用されます。

08



大阪音楽大学 第64回定期演奏会

12月3日(金)、ザ・シンフォニーホールにて「大阪音楽大学 第64回定期演奏会」を開催します。指揮には、大阪フィルハーモニー交響楽団音楽監督、その他NHK交響楽団をはじめ数多くのオーケストラで活躍されている尾高忠明氏をお迎えし、後期ロマン派の作曲家の中から、ドヴォルジャーク、R.シュトラウス、ブルックナーの作品をお届けします。R.シュトラウスが最晩年に作曲した、管弦楽伴奏歌曲集「4つの最後の歌」では、並河寿美特任准教授がソプラノ独唱を務めます。プログラムのメインは、交響曲の大家として知られるブルックナーの「交響曲第7番 ホ長調(ハース版)」。ブルックナーの交響曲の中で人気の高い作品に、大阪音楽大学管弦楽団が挑みます。学生たちが奏でるエネルギッシュな音色を、ぜひ会場でお楽しみください。

※本公演は新型コロナウイルスの影響等で中止となる場合がございます。最新情報は本学webサイト「演奏会情報」でご確認ください。